



松柏中学校アーカイブ通信 第24号 2024年11月6日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

最後の松柏中学校文化祭を終えて

松柏中学校校歌に関する情報

11月3日、第34回松柏中学校文化祭を開催しました。当日の生徒発表でもあったように、「文化発表会」から数えて49回目でした。この日は、恒例の合唱コンクールや吹奏楽部コンサート、ふれあいライブ等、数々のプログラムが実施され、生徒たちは学習の成果を披露するとともに、情熱を発散させ、地域への感謝を伝えました。



詳細は「松中だより」や本校のホームページで紹介されますが、この紙面では、アーカイブ活動・沿革史の視点に絞って紹介していきます。

現役松中生と卒業生、保護者、そして地域の方々との絆を確かめるプログラムとして今回行ったのが、会場全体で歌う松柏中学校校歌でした。(写真上) 1番から3番までをしっかりと歌い切ることが重要でした。本番を指導した音楽科の酒井教諭も、体育館に掲げられている校歌、体育館前にある校歌碑とともに2番が省略されていて、少なくとも現役松中生や現教職員にはなじみがありませんと説明がありました。「省略」された真意は謎ですが、かつては1番と2番を入学式や卒業式で歌っていた記録もあります。保護者の皆様いかがでしょうか。松柏中学校最後の年、校歌を1番から3番までしっかりと歌おうと、生徒たちは音楽の授業で春から歌ってきました。歌詞をご覧ください。

						校歌	
						作詞 菊池 啓泰	
						作曲 清家嘉寿恵	
				一		千丈の 清き流れに	
				二		夜昼の 峯の夜明けに	
				三		宇和の海 緑たゆらに	
		あ		あ		あ	
あ		あ		あ		あ	
あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
松	松	松	松	松	松	松	松
柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏
我	我	我	我	我	我	我	我
等	等	等	等	等	等	等	等
が	が	が	が	が	が	が	が
母	母	母	母	母	母	母	母
校	校	校	校	校	校	校	校

歌ってこなかった分、2番の歌詞が新鮮に感じられます。そして酒井教諭も指摘されていますが、2番の歌詞が一番格調高い、厳かだと感じられます。志を持った若者(松中生)の心意気や自然の雄大さが伝わってきます。(なお、「閉校記念誌」ですが、校歌の2番の歌詞にこだわって編集を進めています。)

この校歌ですが、1953年(昭和28年)に完成しました。松柏中学校(1年目は八幡浜市立第二中学校)のスタートが1947年度です。開校して5年後です。1953年の4月30日、校舎が完成し、千丈小学校での間借り時代から、晴れて現在の地に松柏中学校が引っ越してきたのです。これを記念して、校歌を制作することになり、歌詞を公募しました。集まった作品を愛媛大学に審査してもらい、選ばれたのが、この年に愛媛大学を卒業し、新採で松柏中学校教諭として赴任していた菊池啓泰さん(国語科)の歌詞でした。作曲をした清家嘉寿恵さんは愛大の講師でした。



校歌に関しては、体育館前に立つ校歌碑につながっていきます。あの校歌碑の文字は菊池啓泰さんの筆によるものです。1980年9月7日に完成し、除幕式が行われました。現在の校舎の落成式が1980年の9月12日に行われています。この校歌碑は、1953年度に2年、1954年度に3年と菊池さんが持ち上がりで受け持った学年の卒業生（第8期）が、母校に寄贈したものです。当時の新聞記事をご覧ください。



【写真左 紙名不明（地方紙3紙ではない。校内に残るスクラップ帳より）1980年9月7日付】

【写真上 八幡浜新聞 1980年8月14日付】
* なお、八幡浜新聞の記事については、著作権に関してこの紙面での利用の許可をもらっています。

78年の歴史を刻んできた松柏中学校。卒業生の数は7300名を超えます。第4部のパネルディスカッションに参加していただいた石河さん（市内末広）のように、三世代で松柏中学校出身という家族もたくさんいると思います。卒業生も、教職員も、そして保護者や地域の方々を含めて、「オール松柏」で結び付くのは校歌ではないでしょうか。メロディ、そして歌詞の意味をしっかりと考えて、これからも歌っていききたいですね。

校歌の歌詞を考えるについて、「小学生のときには深く考えていなかったけれど、今になって改めて、校歌の歌詞の良さを深く味わえた。」と話されたのはバリトン歌手の宮本益光さんです。10月21日、江戸岡小学校でのコメントです。歌詞の中でも特に思いを寄せられたのが2番のラスト「見つけてする子 頑張る子 明日の日本を背負う子ら」だそうです。（「江戸岡小便り」11月号より）なお、宮本さんは今回、「八幡浜中学校校歌」の作詞を担当されました。12月には1・2年生で練習に入る予定です。

文化祭でアーカイブコースの取組を発表

文化祭当日、「きらめきタイム」の各コースでの取組を模造紙にまとめ、体育館に掲示しました。アーカイブコースも運動会の種目の変遷、部活動の記録など、テーマ別研究のまとめを掲示しました。また、1980年頃の松柏中学校校区の地図を復元し、保護者や地方紙から得た情報を盛り込んで紹介しました。保護者や地域の方々が、作品の前で足を止められていました。



中には「先生、家（うち）の広告を新聞に出しているのを知らなかった。生徒が新聞から探したの？新聞社の社長とはずっと懇意にしていたけど、知らなかった。よく見付けたなあ。」という感想もいただきました。

最後に、今回の文化祭を終えて寄せられた感想を紹介します。

松中の皆さん、今日はありがとうございました。新聞で（文化祭の開催を）初めて知って、40年ぶりに校門をくぐって、校歌を歌いました。懐かしくもあり、寂しくもあります。日曜日の高速（道路）が少し混んでいて、到着が遅くなり、合唱や吹奏楽部の演奏などには間に合いませんでしたが、皆さんから元気をいただきました。病気をして、外出ままならない中、息子が「行けるときに行こう。」と思い立ってくれて遠路連れてきてくれました。来てよかったです。懐かしい校舎や八幡浜の町に挨拶して帰ります。ありがとうございました。松中大好きです。